

第1号議案

平成30年度事業報告及び収支決算について

1 平成30年度事業報告について

第35事業年度

（ 自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日 ）

当財団は、県内企業の総合的支援機関として、新産業創出や経営革新への支援、産業技術の高度化や科学技術の振興、産学官の共同開発研究への支援などに取り組んでいる。

平成30年度は、既存の取り組みに加え、前年度に造成した基金を活用して、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」を開始した。

また、平成30年6月には、「事業承継支援窓口」を新たに開設し、県内中小企業が抱えるさまざまな悩みや課題の解決に努めた。

※各事業右記載の金額は、経常費用の額である。

公益目的事業

I 新産業の創出や地域産業の革新、地域企業の経営基盤強化のための相談・指導、情報提供、助成及び資金貸付等の事業

決算額

1. 新事業創出等支援事業

40,513千円

県内企業の新事業の創出や経営革新などを積極的に推進するため、本県の中核的支援機関として各支援機関と連携を取りながら、研究開発から事業化、販路開拓に至るまでの総合的な支援を実施した。また、円滑な事業承継を促すため、国からの委託により事業承継ネットワークを構築し、参加機関による事業承継への気づきを与えるための取り組みを実施した。

相談事業	専門家による窓口相談や巡回相談などにより、中小企業の経営力の向上（経営革新・農商工連携・地域資源活用・販路開拓・経営改善等）、創業・再チャレンジ、事業承継等の課題に対する指導助言を行うとともに、企業ニーズの把握や事業化シーズの発掘等に努めた。 なお、「認定支援機関」として、ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の計画作りを支援するとともに、国の補助金申請のための確認書発行業務を行った。	1,282件
専門家派遣事業	地域の支援機関の要請等に基づき専門家を派遣し、中小企業の高度・専門的な経営課題の解決を図った。	2企業

支援体制整備事業	地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催した。(平成30年5月25日)	1回
さぬき市中小企業等経営支援相談事業	さぬき市から同市内の商工業者などを対象とした経営革新等に関する相談業務を受託し、相談日に専門家を派遣した。	定例6回 個別13回
事業承継ネットワーク運営事業	県内企業の事業承継への意識を喚起するため、平成29年度に構築した、商工会・商工会議所・金融機関等を構成機関とする事業承継ネットワークにおいて、事業承継診断の実施や連絡会議での情報共有を行った。さらに、事業承継診断により掘り起こされた支援ニーズに対して個者支援を実施するために、香川県事業承継コーディネーター1名、事業承継ブロックコーディネーター2名(平成30年11月から3名)を配置し、「香川県事業承継支援窓口」を開設した。また、事業承継支援担当者向け研修会や企業向け事業承継セミナーの開催、県内企業約6,000社を対象とした事業承継に係る実態調査を行った。	会議2回 診断892件 事業承継支援窓口による個者支援182件 専門家派遣2件

2. 創業促進事業(国委)

48千円

平成25年度～平成27年度、起業・創業、第二創業を行う者に対して、経費の一部を補助する事業を行った。その補助事業者に対し、独立行政法人中小企業基盤整備機構から委託を受け、フォローアップを行った。

3. 新規創業・創業後支援事業(ふるさと創業支援事業 創業支援塾等開催事業)(県補)

2,775千円

(1) 創業支援塾事業

県内での創業を目指す者を対象に、創業に当たっての実務ポイントを一体的かつ体系的に学習でき、かつ具体的なビジネスプランが策定できるよう、実践的な創業支援塾を開講することにより、創業の促進を図った。

○ かがわ創業塾

日時	受講者
平成30年6月29日～8月1日 (全5回) 13時～17時	34名(うち全課程修了者18名)

(2) 創業後個別フォロー・創業事例発表会開催事業

創業後間もない方を対象に、個別課題に対する相談窓口を設けるとともに、創業の成功事例の発表の機会や情報交換の機会を設けるなど、ネットワークづくりを促進し、廃業の抑止等につなげた。

① 創業後フォロー(専門家配置事業)

講師：笠居 昭司、川上 実、筒井 恵

開催月	件数	時間	開催月	件数	時間
4月	—	—	10月	13	28
5月	—	—	11月	19	29
6月	13	25	12月	14	29
7月	20	29.5	1月	19	30
8月	21	29.5	2月	15	29
9月	17	28.5	3月	15	21

総数：166件、278.5時間

② 創業シンポジウム（創業事例発表会開催事業）

日時 平成31年1月25日 13時～16時50分

場所 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室

○ 特別講演

『～夢を叶えた私の10年間の生き方～自己管理と努力の方法』

講師：株式会社U c a 代表取締役 片山 結花 氏

○ 事例発表

・『養鶏家の幸せをおすそわけ～かなたまキッチン～』

発表者：かなたまキッチン オーナー 金江 ちひろ 氏

・『高松で実現した、新しい働き方～会社員と個人事業～』

発表者：せとうちラボラトリー 代表 石野 雅俊 氏

・『ADS技術を通して社会貢献を目指す』

発表者：株式会社ADSムラカミ 代表取締役 村上 康裕 氏

○ パネルディスカッション

①株式会社U c a 代表取締役 片山 結花 氏

②かなたまキッチン オーナー 金江 ちひろ 氏

③せとうちラボラトリー 代表 石野 雅俊 氏

④株式会社ADSムラカミ 代表取締役 村上 康裕 氏

⑤中小企業診断士 梅澤 秀樹 氏

4. 新規創業融資計画策定支援等事業（県委）

2, 846千円

香川県から委託を受け、香川県中小企業振興融資制度のうち、「新規創業融資（開業プランサポートタイプ）」にかかる融資申込者に対する新規創業計画の作成の支援並びに創業者を現場訪問し、事業者が抱えている課題等を調査し、創業期の事業者を支援した。

新規創業計画の策定支援等 新規創業融資計画作成支援業務担当専門相談員として 1名を雇用し（月12日程度勤務）、新規創業計画の作成 支援並びに創業期の事業者支援を行う。	延べ相談回数 36回 計画書作成支援件数 7件
--	----------------------------------

5. 起業等スタートアップ支援事業（ふるさと創業支援事業）（県補）

13, 621千円

新たなビジネスや雇用の創出などを促し、地域の経済の活性化を図ることを目的として、県内で創業や第二創業等を行う者に対して、創業等に要する経費の一部を補助した。

類型	対象事業	補助金上限額	申請／採択件数
一般型 事業	原則として、事業内容に制限なし	50万円 (補助率 1/2 以内)	28件／15件
先端技術 活用型 事業	次の先端技術を活用した事業 ① CNF 等高機能素材 ② 3D積層造形技術 ③ ロボット技術 ④ ICT、IoT、AI等	500万円 (補助率 1/2 以内)	3件／2件

6. 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（よろず支援拠点）（国委）

64,571千円

中小企業・小規模事業者への支援体制を強化するため、「香川県よろず支援拠点」に、チームコーディネーター1名と11名のコーディネーターを配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイス、個別事案に最適な支援チームの編成などによる中小企業支援事業を国から委託を受け実施した。

また、中小企業の経営者等を対象に、セミナーを開催した。

○相談件数 平成30年度 3,288件（平成29年度 2,757件）

○よろずセミナー実施回数 平成30年度 17回（平成29年度 39回）

7. 農業の6次産業化等促進事業（県委）

2,506千円

県から委託を受け、6次産業化にむけた取り組みを支援するため、「かがわ6次産業化推進センター相談窓口」を設置した。農林漁業者等へのサポート活動として、6次産業化プランナーの派遣やセミナー等を開催し、すでに実践する農林漁業者のフォローアップや志向する農林漁業者等に対して個別指導や助言を実施した。

- (1) かがわ6次産業化推進センター相談窓口を設置、専任プランナーを委嘱

専任プランナー 3名を委嘱

- (2) 総合化事業計画認定事業者のフォローアップ

相談件数等 18件

- (3) 6次産業化事業相談

相談件数 83件

- (4) 新規総合化事業計画作成支援

総合化事業計画認定申請件数 2件

- (5) かがわ6次産業化ビジネス塾の開催

農林水産業と活力ある農山漁村づくりを担う人材・地域リーダーを育成するため、事業実施に必要な知見を得るための講義と販売加工を実践的に体験するインターンシップを組み合わせた研修を実施した。

時期	内容	講師
8月23日	第1回 一般研修	6次産業化のポイント 食のトレンド、商品開発 効ミ(株) 代表取締役 高野 克三 氏
9月12日	第3回 インターンシップ 研修	商談実習 バイヤー商談会 食品商談会 6次産業化 PL
9月26日	第4回 一般研修	食品表示 (株) ラベルバンク 代表取締役 川合 裕之 氏
		食品衛生管理(HACCP 等) (株) スパック シニアマネージャー 小川 慶徳 氏
11月15日	第5回 インターンシップ 研修	加工実習 ピクルス加工 (有)コスモファーム 取締役会長 中村 俊樹 氏
11月22日	第6回 一般研修	ビジネスプラン 6次産業化 PL
		ブランド戦略・販促 (有)梅原デザイン事務所 代表取締役 梅原 真 氏
11月27日	第7回 インターンシップ 研修	加工実習 フリーズドライ加工 グルテンフリー(米粉)体験 (株) スマ・リ・オリジン 代表取締役 住田 俊二 氏
1月10日	第2回 一般研修	商談スキルアップ 商談の心得 Motion Mind 代表 安並 信治 氏

8. 地場産品等PR・ブランド化事業（県委）

11,896千円

（1）地場産品等ブランド化もののづくり支援事業

消費者ニーズを取り入れた新商品の開発やブランド化に取り組む事業者を支援するため、商品づくりのポイントやデザイン、販売戦略の手法等を習得するセミナーの開催、地元専門家による開発商品のブラッシュアップ、展示会参加等を行った。

（2）かがわ地場産品ビジネスチャンス事業

県内地場産業を対象とした商談会（ビジネスマッチング）を開催することで、大都市圏に広がる発注ニーズや案件を県内企業に紹介し、広域的かつ継続的な受注機会の創出を図った。

9. 知財総合支援窓口運営業務（国請負）

34,393千円

中小企業等の知的財産マインドの向上や知的財産の活用を促進するため、「知財総合支援窓口」を設置・運営し、配置した知財の専門知識を有する窓口支援担当者等と知財専門家（弁理士・弁護士）が協働して、中小企業等が抱える知的財産に関する悩みや課題をワンストップで解決できる相談・支援を行うとともに、企業経営の中で実施するノウハウも含めた知的財産活動を、アイデア段階から事業展開まで一貫した支援を行うほか、県内各地での知的財産セミナー等の開催や中小企業への個別訪問など、知的財産の重要性等の普及啓発を行った。

（1）相談件数等

項 目	内 容	実 績
相談件数	支援窓口での知的財産に関する相談件数	1,441件
うち新規相談件数	支援窓口での知的財産に関する新規相談件数	193件
うち訪問指導件数	知財専門家等が企業訪問して指導した件数	187件
知財専門家活用件数	支援窓口での知財専門家（弁理士、弁護士）を活用した相談件数	235件
訪問企業数	支援窓口の普及啓発のために訪問した企業数	270社

（2）初心者向け知的財産権制度入門講座

	開催日	開催場所	テーマ	講 師	受講者数
第1回	平成30年 7月6日	香川産業 頭脳化セ ンター	知的財産権制度について（概要）	弁理士 京和 尚 氏	25名
第2回	平成30年 7月13日		特許・実用新案入門	弁理士 京和 尚 氏	26名
第3回	平成30年 7月20日		意匠・商標入門	弁理士 松島 理 氏	27名
第4回	平成30年 7月27日		特許等調査の入門	弁理士 村上 武栄 氏	16名
第5回	平成30年 8月10日		特許等調査の活用	弁理士 松島 理 氏	14名

(3) 初心者向け知的財産権制度出前講座

	開催日時	対象企業等	テーマ	講 師	受講者数
第1回	平成30年 8月8日	株式会社 Dynax T	知的財産権制度について(概要)	弁理士 京和 尚 氏	30名
第2回	平成30年 11月1日	株式会社レ クザム	技術者向け知財実務の 普及啓発	弁理士 中井 博 氏	32名
第3回	平成31年 3月11日	株式会社川 上板金工業 所	知的財産権制度について(概要)	窓口支援担当者 黒田 茂 氏	20名

(4) 知的財産セミナー

	開催日	開催場所	テーマ	講 師	参加者数
第1回	平成30年 8月9日	ネクスト 香川	地域おこしブランド 戦略	株式会社ブランド 総合研究所 田中 章雄 氏	27名
第2回	平成30年 8月21日	小豆島町 役場	あなたの商品の魅力 を見つけよう(食品分 野における知的財産)	木戸弁理士事務所 木戸 基文 氏	13名
第3回	平成30年 9月14日	ネクスト 香川	I o TやA Iを活用 した中小企業のため の事業戦略	株式会社フォレス タ経営 森 尚子 氏	27名
第4回	平成30年 10月26日	高松商工 会議所	海外ビジネスと知財 対策 ～知っておきたい知 財の基本と戦略～	I N P I T海外知 的財産プロデュー サー 久永 道夫 氏	24名
第5回	平成30年 11月8日	ネクスト 香川	著作権のトラブル事 前回避	元株式会社ケンウ ッド 石黒 一夫 氏	23名
第6回	平成30年 12月13日	小豆島町 役場	販路拡大のための知 的財産	明和総合特許デザ イン事務所 藤掛 宗則 氏	12名

10. 知的財産活性化事業(県補)

6,930千円

県内企業等の知的財産の創造・保護を促進するため、「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、配置した知的財産権の活用を図る特許流通コーディネーターが、知的財産に関する情報収集・提供を行うとともに、知的財産の活用を促進するため、県内企業等への相談や訪問相談を行った。

相談件数等

項 目	内 容	実 績
来訪者相談件数	特許流通に関する相談件数	30件
訪問企業数	特許流通のために訪問した企業数	142社

1 1. 知的財産活用促進事業（県補）**5, 395千円**

県内企業等の知的財産の活用による競争力強化を促進するため、「香川県知的所有権センター」が、知的財産を活用した経営や新たな事業展開に取り組む県内企業等の経営者等を対象に、日本弁理士会と連携した、「かがわ知財経営塾」を5回開催するなど、きめ細かな支援を行うとともに、大企業等が保有する開放特許の活用を通じて、県内企業の新商品開発や新たな事業展開を促進するため、「知財マッチング in かがわ 2018」を開催し、大企業等とのマッチングの機会と場所を提供した。

（1）かがわ知財経営塾

	開催日	テーマ	講 師	受講者数
第1回	平成30年 10月18日	中小企業における知的財産戦略（概要）	壬生弁理士事務所 壬生 優子 氏	22名
第2回	平成30年 10月24日	中小企業における知的財産活用戦略（事例を中心に）	古谷国際特許事務所 松下 正 氏	16名
第3回	平成30年 10月31日	大企業等の開放特許を活用した商品開発ビジネス	コスモス特許事務所 竹村 恵一 氏	38名
第4回	平成30年 11月6日	開放特許の活用法・活用事例（活用事例を中心に）	コスモス特許事務所 富澤 正 氏	13名
第5回	平成30年 11月14日	開放特許のライセンス契約と商品開発に向けた資金調達	石井総合知的財産事務所 石井 貴文 氏	16名

（2）知財マッチング

知財マッチング in かがわ 2018	日 時：平成30年10月31日 10時～16時 場 所：サンメッセ香川2階 サンメッセホール、中会議室 参加者：開放特許紹介：大企業等8社、県内企業31社54名 パネル等展示：大企業等10社、県内企業35社59名 個別面談：大企業等8社、県内企業16社
------------------------	--

1 2. 中小企業等外国出願支援事業（国補）**3, 082千円**

中小企業等における戦略的な外国への特許出願等を促進するため、県内中小企業等を対象に、平成30年5月～11月の間に3回募集し、9社、11件（特許3件、商標6件、冒認対策商標2件）に対して、外国への特許出願等に要する費用の一部を助成した。

1 3. プロフェッショナル人材戦略拠点事業（県委）**27, 367千円**

プロフェッショナル人材（新たな商品、サービスの開発等、企業の成長戦略を具現化していく人材）の地方還流を促すために設置される「プロフェッショナル人材戦略拠点」として、戦略マネージャー1名と複数のサブマネージャー及びアシスタントを配置し、地域の金融機関等と連携しつつ、地域の中堅中小企業におけるプロフェッショナル人材のニーズを把握し、企業の成長戦略を支援していく事業を、県から委託を受け実施した。

○プロフェッショナル人材成約件数 62件
（平成29年度成約件数 50件）

1 4. 経済研究情報事業**11, 720千円**

インターネットや情報誌等を活用した産業情報の提供を行ったほか、企業の情報化を支援するための情報化相談事業、人材育成のための新入社員研修を実施した。

また、独創的なビジネスプランで新規創業しようとする企業や独自のビジネスモデルを構築した企業を表彰した。

(1) 経済研究情報提供事業

インターネットや情報誌等による産業情報の提供を行った。

内 容	回 数 等
財団ホームページやメールマガジンによる情報発信	常時
情報誌「かがわ産業情報 21」の発行	4 回

(2) かがわ型新ビジネスモデル奨励事業

創造的な技術や商品、サービスなどを新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、斬新的なビジネスプランと、独自のビジネスプランを樹立し成功した先進的モデルを募集・表彰した。

① かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ 2018

- ・応募総数 25 件
- ・特典：最大 200 万円の助成金、インキュベーション施設の無料提供、特別低利融資等

	ビジネスプラン	事業者
最優秀賞	コンクリート構造物の塩害劣化検査サービス	西藤 翼
優 秀 賞	新ブランドにより地場産業にイノベーションを起こす「伊吹島プロジェクト」	株式会社伊吹島プロジェクト
優 秀 賞	ハンディのある子どものサポートをするための教育法「療教育メソッド」を電子化して広める	はなはな＊みかん

② かがわ発！先進的ビジネスモデル 2018

- ・応募総数 3 件
- ・賞状と盾・記念品の授与

	ビジネスモデル	事業者
大 賞	「食のバリアフリー」の取り組み	株式会社フードテック
優秀賞	いきいき高齢者お出かけ支援事業 (SST 事業)	平成レッグス株式会社
優秀賞	自社ブランド確立による縫製業の復活	有限会社川北縫製

(3) 情報化基盤整備促進事業

地元中小企業の情報化に向けた取り組みを支援するため、情報化に関する相談事業を実施した。

内 容	回 数 等
情報化相談事業	61 件

(4) 講習会開催事業

香川の産業高度化を支援するための人材育成事業として、新入社員研修を実施した。

講 習 会 名	開 催 日	参加人数
新入社員研修	平成 30 年 4 月 3 日～4 日	41 名

15. 中小企業後継者育成事業**1, 330千円**

中小企業後継者育成のため、次の事業に対して助成等を行った。

区 分	件数等	金 額
中小企業大学校派遣研修事業	9名	586千円
香川大学大学院地域マネジメント研究科派遣研修事業	2名	536千円
計	11名	1,122千円

16. 設備資金貸付債権管理事業**135千円**

過年度貸付の回収業務及び事後助言業務等を行った。

17. 設備貸与債権管理事業**20, 897千円**

過年度貸与（割賦販売及びリース）の回収業務等を行った。

II 産業技術の高度化及び科学技術の振興のための支援事業**1. 高度技術開発振興事業****11, 882千円****(1) 研修会等開催支援事業**

県内産業の技術の高度化を図るため、学術研究支援や人材・能力育成支援を実施した。

区 分	開催回数	参加者数
学術研究会の開催支援	3回	141名
第26回かがわけん科学体験フェスティバル (主催：かがわけん科学体験フェスティバル実行委員会等)	1回	3,282名

(2) 商品化技術テーマ調査事業

大学・高専・公設試等が保有する技術資源を活用して新たな商品開発を行おうとする県内企業等に対し、商品化・事業化の可能性についての調査研究に要する経費を助成した。

平成30年度採択分【新規4件、助成額4,000千円】

事業者	テーマ	学術研究機関
株式会社テリムクリ	ゲーミフィケーション機能を有した地域防犯、安全・安心なまちづくりに貢献するウォーキングアプリの開発	香川大学 教育学部、創造工学部
一般財団法人 百十四経済研究所	ICT技術を活用した観光支援システム開発による地域経済の活性化	香川大学 創造工学部
株式会社裕鋼業	鉄を主材とした耐震シェルターの開発	香川大学 創造工学部
株式会社ザムウ	子育て支援におけるIoT機器の有用性の検証	香川短期大学 経営情報科、子ども学科

(平成29年度採択分4件、4,289千円)

(3) 芦原研究支援事業

本県出身の故芦原義重氏（関西電力㈱名誉会長、香川県名誉県民）からの寄附金による基金を活用して創設した芦原科学賞により、県内産業の技術の高度化及び産業振興に寄与するため、自然科学系分野において優秀な研究成果をあげた研究グループや個人の顕彰(大

賞、功労賞）並びに優秀な成果をあげることが期待できる研究グループや個人の顕彰（奨励賞）を行った。

芦原科学大賞 (賞状・楯・賞金200万円)	受賞者：(株)石垣 山下 学 氏、片山 雅義 氏、宮脇 将温 氏、 玉内 亮介 氏、三野 広幸 氏、犬塚 充志 氏 テーマ：下水処理分野において難脱水性汚泥や低濃度汚泥 に対する高性能化と処理の大容量化や安定化を 可能とする汚泥脱水機「ハイブリッド型圧入式ス クリュープレス脱水機（ISGKV型）」の開発
芦原科学功労賞 (賞状・楯・賞金100万円)	受賞者：自然免疫応用技研(株) 稲川 裕之 氏 テーマ：自然免疫の制御技術に基づく、人の健康に資する 製品の開発
芦原科学奨励賞 (賞状・楯・賞金50万円)	受賞者：(有)ポルテ 竹北 孝文 氏、竹北 昌成 氏 テーマ：立体手袋の自動縫製技術による全方位対応「耐切 創・耐突刺手袋」等の開発

(4) 地域技術事業化推進事業

① 次世代自動車関連技術開発研究会

県内中小企業が、技術革新の進展に即応した技術を製品の開発や生産等に活用して事業化を図る取り組みを支援するため、今後の有望分野である次世代自動車分野に関する情報交換・情報発信や関連技術の習得、人材育成に資する事業として、研究会の運営を実施した。

区 分	内 容 等
第12回 次世代自動車関連 技術開発研究会	○開催日等 日時：平成30年12月14日 場所：香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室 ○基調講演 『自動運転とEVが引き起こす自動車産業の「価値の革命」』 オートインサイト株式会社 代表 技術ジャーナリスト・編集者 日経BP未来研究所 客員研究員 鶴原 吉郎 氏 ○事例紹介 『設備用ドライブレコーダーRekamomaの導入事例』 株式会社コヤマ・システム 営業課 大藪 友通 氏 ○参加者 51名

② 香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携

香川大学大学院地域マネジメント研究科(MBA)と連携して、地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による授業科目「地域の中小企業と経済活性化」を地域マネジメント研究科における提供講座として開設した。また、県内企業支援方策の検討に資する基礎調査・研究(地域企業と地域経済動向に関するもの)を共同で実施した。

名 称	内 容 等
提供講座 「地域の中小企業 と経済活性化」	○開催日時 平成30年10月2日～平成31年2月5日(全15回) ○場所 香川大学又信記念館

	○内容 提供講座の開設（中小企業経営者等による１５講座） ○参加者 学生、一般聴講者等合わせ延べ４１７名が参加
共同研究 「地域産業の振興及び県内企業支援方策の検討に資する基礎調査・研究の共同実施」	○実施期間 香川大学との共同研究 平成２９年４月１日～平成３０年８月３１日（変更契約による期間延長） ○内容 香川県内製造業を対象に海外販路開拓等における実態に関するアンケート調査等の基礎調査を実施し、継続的かつ効果的な支援制度の構築などの政策提言をまとめた。

２．債務保証債権管理事業等

０千円

（１）債務保証

研究開発型企業が新技術・新製品の開発及び事業化を行うに際し必要とする資金の円滑な借入を支援するため、無担保の債務保証を行う事業であり、平成２８年度までの債務保証事業において代位弁済を執行した案件で、求償権を有する案件２件の継続管理を行った。

３．科学技術振興事業（国補）

８９，６１９千円

（１）戦略的基盤技術高度化支援事業

我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（バイオ、情報処理、精密加工、機械制御等１２分野）の高度化に貢献できる研究開発について事業化に向けた取り組みを支援する「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」を推進した。

財団は事業の管理法人として、平成２８年度採択事業２件および、平成３０年度採択事業１件の計３件について、経済産業省から補助金を受けて事業を進めた。

○平成２８年度より継続事業（研究開発３年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
バイオ医薬品の経皮吸収を可能にする粘着テープ化技術の開発	平成２８年９月～平成３１年３月	(株)メドレックス 徳島大学	２２．４百万円 (平成３０年度分)
角質層内セラミドの増加作用を有する合成カエデタンニンの低コスト大量生産技術の開発	平成２８年９月～平成３１年３月	(株)伏見製薬所 富山大学	２２．４百万円 (平成３０年度分)

○平成３０年度新規事業（研究開発１年目の事業）

テーマ	期間	研究機関	補助金額
高耐疲労高強度全天候型絶縁ロープの製造・点検技術の開発	平成３０年８月～令和３年３月	高木綱業(株) 県産技センター	４４．９百万円 (平成３０年度分)

４．地域共同研究開発事業

７７，０７２千円

地域企業と連携して、開発可能性調査研究型プロジェクト、受託研究、技術指導実験、県内産業育成支援のための調査研究、ＲＩＳＴ保有研究設備・機器の一般開放を実施し、事業化・商品化支援を行うとともに、企業訪問による技術指導、技術講演会の開催、研究施設一

般公開等を実施した。

また、食品産業への支援として「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」によるシンポジウムの開催や工場施設見学及び新機能性表示食品開発相談センターによる機能性表示食品制度に関する相談・指導を実施した。

(1) 研究開発事業

① 企業支援研究事業

食の安全・安心、環境保全、CNF、電池電極など社会的課題・ニーズを踏まえたテーマを中心に、開発可能性調査研究、受託研究、技術指導実験を推進した。

区分	平成 30 年度実施件数
開 発 可 能 性 調 査 研 究 (F S 研究)	4 件 (県内 1 企業、県外 3 企業)
受 託 研 究	2 件 (県内 2 企業)
技術指導実験	1 2 件

② 調査研究事業

県内産業育成支援のため、R I S T かがわ保有技術を活用した調査研究を実施した。

事業名	内容・結果
冷凍調理食品産業支援研究	冷凍調理食品の課題である加熱ムラ・冷凍ヤケ抑制対策について、冷凍調理めんを対象に、電子レンジ方式の違いや包装資材の違い等による対策を検討した。
地域資源商品化支援研究	県産特産物である小原紅早生みかんの機能性を活かした普及を目指して、果実の保存熟成による効果に着目した機能性成分の冷凍・冷蔵保存による影響、長期保存による販売期間の延長可能性を調査した。

③ 産業財産権

平成 30 年度は特許出願を 2 件実施するとともに、新規登録特許が 1 件あり、登録特許は 1 4 件となった。

これまでの特許出願等の状況は次のとおりである。

①出願件数	②特許登録数	③権利放棄数	登録特許保有数(②-③)
1 0 3 件 (2)	3 7 件 (1)	2 3 件 (4)	1 4 件

※ () 内は平成 30 年度の件数

(2) 機能性食品開発支援事業

① かがわ機能性食品等開発研究会による支援

かがわ機能性食品等開発研究会の事業として情報交換・施設見学会及びシンポジウムを開催し、機能性食品等に係る県内企業の研究開発や商品開発の取り組みを支援した。

区分	内容等
第 5 回情報交換・施設見学会	○開催日時：平成 30 年 6 月 18 日 13 時 30 分～16 時 30 分 ○見学先 : かがわ産業支援財団 ○参加者 : 4 3 名

第6回シンポジウム	○開催日時：平成31年1月29日 13時30分～16時20分 ○場 所：サンポートホール高松 61 会議室 ○講演 「機能性表示食品をとりまく最近の動き」 (公財)日本健康・栄養食品協会 事務局長 青山 充 氏 ○事例発表 「健康志向のスイーツの開発」 (株)ルーヴ 代表取締役社長 野崎 幸三 氏 「香川県農産物の保存方法及び機能性成分に関する調査研究」 (公財)かがわ産業支援財団 主任研究員 中西 勉 ○参加者：63名
-----------	--

② 機能性表示食品届出支援

平成27年6月に設置した新機能性表示食品開発相談センターでは、消費者庁への機能性表示食品届出書について、届出書類作成等支援業務を3件受託するとともに、機能性表示食品開発・届出に関する相談業務（平成30年度相談件数：72件）を行った。

また、平成28年度～平成29年度に届出支援した3商品が受理され、いずれも平成31年2月に機能性表示食品となった。

(3) 冷凍食品産業支援事業

かがわ冷凍食品研究フォーラムの事業として、シンポジウム及び工場見学会を開催し、県内の冷凍食品を製造する企業等の研究開発や商品開発の取り組みを支援した。

区分	内容等
第4回情報交換・施設見学会	○開催日時：平成30年7月25日 13時20分～16時40分 ○見学先：香川県農業試験場 ○参加者：46名
第6回シンポジウム	○開催日時：平成30年11月8日 14時00分～16時40分 ○場 所：サンメッセ香川 2階中会議室 ○講演 「香川県の食品産業の発展に期待する」 五栄海陸興業(株) 代表取締役社長 中山 貢 氏 ○事例発表 「株式会社フジフーズにおける食品安全の取り組み」 (株)フジフーズ 取締役工場長 佐藤 好太郎 氏 「冷凍食品産業基盤強化事業の概要」 香川県産業技術センター 主席研究員 田村 章 氏 「冷凍パスタの電子レンジによる均一加熱調理方法の検討」 (公財)かがわ産業支援財団 主任研究員 朝日 信吉 ○参加者：51名

(4) 商品化・事業化促進事業

研究開発・技術開発終了後、実用化の段階にある企業に対して、研究者による技術移転とともに、食品加工の専門家によるサポートを実施した。

(5) 研究設備・機器の一般開放

高温高圧流体技術やマイクロ波技術に関する装置、物性測定装置及び分析装置などの研究機器を企業等に開放した。（平成30年度利用件数：98件）

また、R I S T保有研究機器等の、一層の利用促進を図るため、マイクロ波加熱装置、

走査型電子顕微鏡を使って体験型機器利用講習会を実施した。(受講者：8名)

(6) 一般公開、技術講演会の開催

RISTかがわの活動等について県民の方々に知っていただくため、小学生高学年親子を対象に(一社)香川県発明協会と共同開催で「科学と発明」おもしろ体験学習を実施した。また、新機能性表示食品開発相談センターの取組みとして、機能性表示食品制度の県内食品企業への普及を図るため、商品開発担当者等を対象に「機能性表示に関する講演会」を開催した。

区分	内容等
「科学と発明」おもしろ体験学習	○開催日時：平成30年8月18日 10時00分～15時30分 ○内容 小学生親子を対象に、下記の体験講座を実施した。 ① いろいろな顕微鏡でのぞく世界 ② 電子レンジでガラス細工 ③ 発明工作教室 ○参加者：親子52名
機能性表示食品に関する講演会	○開催日時：平成30年9月20日 13時30分～16時10分 ○場所：レクザムホール大会議室 ○講演 「機能性表示食品制度の概要と届出準備・手順」 (株)グローバルニュートリショングループ 代表取締役 武田 猛 氏 ○事例紹介 「新機能性表示食品開発相談センターの取組み」 (公財)かがわ産業支援財団地域共同研究部 土屋 徹秋 「機能性表示食品の取組み」 (株)久保田麺業 営業部長 倉田 茂幸 氏 芳香園製菓(株) 研究所長 野口 裕恭 氏 ○参加者：60名

5. 先端技術成果実用化支援事業(県補)

1,277千円

産学官連携で取り組んできた糖質バイオの研究・開発の成果を、引き続き地元企業に普及させるため、県の補助を受け、企業や研究者との情報交換等を図るほか、産学官の関係者が連携による広域的な人的ネットワークを形成するために、かがわ糖質バイオフォーラムを運営した。また、希少糖関連事業の円滑な推進を図るために総合的な調整等を行う「香川県希少糖戦略会議」の「生産・健康・医療部会」の運営に関与し調整を図った。

区 分	内 容
かがわ糖質バイオフォーラムの運営	かがわ糖質バイオフォーラムシンポジウム及び研究会を開催し、研究開発の進捗状況を発表するほか、産学官の研究者の積極的な意見交換を行うことで、企業と大学研究者などとの人的ネットワークの形成・拡大を図った。
「生産・健康・医療部会」の調整	希少糖のPR、希少糖関連商品の販売、希少糖の生産、香川大学での研究拠点化について情報交換、調整等を行うことにより、希少糖関連プロジェクトの推進を図った。

○かがわ糖質バイオフォーラム第11回シンポジウムの開催

- ① 開催日時 平成31年1月31日 13時00分～16時30分
- ② 開催場所 かがわ国際会議場
- ③ 参加者 県内外の産学官関係者87名

④ 内 容

・講演①

「希少糖 D-アルロースによる GLP-1 シグナリングと肥満・糖尿病の改善」

関西電力医学研究所 統合生理学研究センター長

神戸大学客員教授

矢田 俊彦 氏

・講演②

「乳酸菌の健康機能と可能性」

株式会社明治 乳酸菌研究所長

浅見 幸夫 氏

・ポスター発表者と出席者との意見交換

国公立研究機関及び県内企業等によるポスター発表 19テーマ

○希少糖戦略会議 生産・健康・医療部会

＜部会での協議事項＞

①「かがわ希少糖ホワイトバレー」プロジェクト

②大学等での研究状況、海外での研究状況

③レアーシュガースウィート（RSS）の国内市場状況及びアルロースの国内外展開

④アルロースの特定保健用食品認可に向けての状況と機能性表示食品制度

⑤希少糖（アルロース、RSS等）の広報状況、普及等

＜H30年度開催実績＞ ※いずれも非公開。

・第16回 平成30年 7月18日

・第17回 平成30年11月21日

・第18回 平成31年 3月18日

6. 健康関連製品開発事業（県補）

3,788千円

県内15の産学官機関が策定し、国の地域イノベーション戦略支援地域の選定を受けた「かがわ健康関連製品開発地域構想」を推進するため、県補助金を活用して、医療機器や福祉機器等の製品開発・事業化の促進に努めることで、健康関連産業の創出を図った。

（1）地域企業の健康関連製品開発分野への新規参入等支援

① 医療機器メーカーとのマッチング

ものづくり企業が新たに医療機器分野に参入しようとする場合、医療機器の市場動向の状況把握や法規制への対応に関するノウハウを持つ「医療機器製販企業」などと連携することが有効であることから、在京の発注開拓コーディネーターと協働して東京都文京区本郷地区の医療機器メーカー等への県内ものづくり企業の紹介を行うとともに、全国規模の医療・福祉分野の総合展示会である HOSPEX Japan2018 を活用したマッチング支援を行った。

HOSPEX Japan 2018 出展 (日本医療福祉設備学会併 設展示会)	会 期：平成30年11月20日～22日 場 所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明） 主 催：（一社）日本医療福祉設備協会、（一社）日本能率協会 出展企業・団体：216 来場登録者数：24,653名（入場者数33,512名） 香川県ブース出展企業：8社（パンフレット出展4社） ■ブース来場者数等【会期終了時点アンケート結果より】 ブース来場者数：720名、名刺交換数275枚、商談件数：191件、 見積依頼件数：12件、試作依頼件数：3件、継続協議件数：102件
--	--

② 薬事マネジメント相談会の開催

薬機法や医療機器の開発などに幅広い知識と豊富な経験を有する、NPO 医工連携推進機構 客員研究員吉川典子氏に薬事マネジメント相談員を委嘱し、薬事マネジメント相談会を開催した。

第1回	日 時：平成30年7月20日 13時～17時30分 場 所：FROM香川2階第3コーディネート室 相談員：薬事マネジメント相談員 吉川典子氏 内 容：円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関する無料個別相談会 参加者：県内中小企業4社
第2回	日 時：平成30年12月17日 13時～16時30分 場 所：FROM香川2階第3コーディネート室 相談員：薬事マネジメント相談員 吉川典子氏 内 容：円滑な医療機器開発、製造等のための薬事マネジメントに関する無料個別相談会 参加者：県内中小企業2社

(2) フォーラム活動への参画

かがわ健康関連製品開発フォーラム及び微細構造デバイス研究開発フォーラムの運営に参画し、セミナー等を実施することにより地域企業に対して各種情報提供を行うとともに、人的なネットワークの構築、産学官の連携による新事業、新産業の創出に努めた。

① かがわ健康関連製品開発フォーラム

設 立：平成24年7月1日、平成25年9月1日「ICT ビジネス部会」を設置

会 長：香川大学客員教授 山本知生 氏

会員数：法人会員87、個人会員40、賛助会員10 計137

(うち ICT ビジネス部会会員28)

ICT ビジネス部会 第7回勉強会	日時：平成30年9月13日 18時30分～20時30分 場所：香川県社会福祉総合センター7階第二中会議室 内容：講演1「『眠り方改革』からのヘルスケアへのアプローチ」 帝人(株) デジタルヘルス事業推進班 担当課長 鈴木琢治 氏 講演2「VR・MRを用いた3Dリハビリテーションの未来像」 (株)テクリコ 取締役 坂本 礼央 氏 参加者：33名
----------------------	--

② 微細構造デバイス研究開発フォーラム

設 立：平成17年4月1日

会 長：放送大学香川学習センター所長 大平 文和 氏

会員数：法人会員19、個人会員12、賛助会員4 計35

微細構造デバイス 研究開発フォーラム 平成30年度セミナー	日時：平成31年3月14日 13時30分～16時30分 場所：香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室 内容：講師1 一般財団法人マイクロマシンセンター MEMSシステム開発センター センター長 武田 宗久氏 講師2 京都大学大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 インフラ先端技術共同研究講座 特定教授 塩谷 智基 氏 講師3 高松市総務局情報政策課 ICT推進室 室長補佐 平井 賢太郎 氏 参加者：50名
-------------------------------------	--

Ⅲ 下請中小企業の振興のための事業

下請企業振興対策事業（県補）

21,701千円

取引情報収集提供事業	下請取引のあっせん ・受発注取引を希望する登録企業の取引あっせんを行った。	461件
	取引情報の収集提供 ・専門調査員等が登録企業を訪問し、受発注情報や企業情報等の収集・提供を行った。 ・発注開拓促進会議の開催 県内発注企業の景況、外注計画等の情報交換 平成31年3月15日 香川産業頭脳化センタービル	411件 1回
	共同受注推進会議の開催 共同受注の推進のための講習会等を開催した。 ・共同受注推進講習会（講演会） 平成30年5月25日 対象：香川県縫製品工業協同組合 場所：オークラホテル丸亀（丸亀市） 演題：「中小機構『ジェグテック』ご登録・活用のご案内について」 講師：独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営支援課 課長代理 吉田 久志 氏 （22名参加） 平成31年1月25日 対象：香川県縫製品工業協同組合 場所：オークラホテル丸亀（丸亀市） 演題：「有給休暇取得の義務化について」 講師：社会保険労務士 滝 多津子 氏 （16名参加）	2回
	広域商談会の開催 ① 四国4県合同で広域商談会を開催した。 ・「四国ビジネスマッチング2018（合同広域商談会）」 日 時：平成30年12月11日 11時～17時 場 所：サンメッセかがわ（高松市） 参加者：発注企業 88社 受注企業186社（香川県94社、徳島県31社、愛媛県30社、高知県31社） ② 近畿・四国合同で広域商談会を開催した。 ・「平成30年度モノづくり受発注広域商談会」 日 時：平成30年9月18日 10時～17時 場 所：マイドームおおさか（大阪市） 参加者：県内受注企業11社 ・「平成30年度近畿・四国合同広域商談会」 日 時：平成31年2月14日～15日 10時30分～16時40分 場 所：京都パルスプラザ（京都市） 参加者：県内受注企業8社 ③ 個別商談会の開催 (1) YKK AP(株)四国製造所（香川県宇多津町）	10回

	日 時：平成30年7月18日・24日 参加者：県内受注企業4社 (2) 日空工業(株) (兵庫県伊丹市) 日 時：平成30年8月22日 参加者：県内受注企業2社 (3) 水戸工業(株) (東京都千代田区) 日 時：平成30年10月17日 参加者：県内受注企業5社 (4) ナブテスコ(株) (東京都千代田区) 日 時：平成31年1月30日 参加者：県内受注企業2社 ④有力な展示商談会への共同出展支援 「第22回機械要素技術展」(東京ビッグサイト)に出展し、 県内のものづくり系企業を対象に香川県ブースとして集団 展示 平成30年6月20日～22日 出展企業10社 ⑤四国企業販路開拓マッチングプロジェクト 「第21回関西機械要素技術展」(インテックス大阪)に、 県内のものづくり系企業を対象に香川県ブースを出展し、四 国企業販路開拓マッチングプロジェクトとして四国4県が 合同でPRした。 平成30年10月3日～5日 出展企業9社 ⑥水素関連見本市出展支援 「第15回国際水素・燃料電池展 (FC EXP02019)」(東京ビ ックサイト)に出展し、県内の水素関連分野企業を対象に 香川県ブースとして集団展示 平成31年2月27日～3月1日 出展企業4社	
下請かけこ み寺事業	(公財)全国中小企業振興機関協会の実施する「下請かけこみ 寺事業」の地域拠点として、下請取引に関する様々な相談に対 応した。(弁護士無料相談含む)	28件

IV 創業支援、ベンチャー企業育成、産業の高度化、産学官共同研究の推進等のための施設の管理・運営事業

1. 頭脳化センター施設提供事業

139,910千円

香川産業頭脳化センタービルの貸室は、創業しようとする者や創業間もない者が入居できる「インキュベータールーム」及び地域産業の高度化に寄与すると認められる企業等が入居できる「リサーチルーム」からなっており、その入居については「香川産業頭脳化センタービル入居者選考委員会」において審議するなど、適切な運営に努めた。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
インキュベータールーム	37室	6室
リサーチルーム		29室

※入居者によって「インキュベータールーム」、「リサーチルーム」の区分が変わる。

2. IT関連インキュベート施設管理運営事業（県補）

5, 258千円

ITを活用し新事業に取り組む起業者(ネットベンチャー)等を支援するため、高速通信回線が整備された部屋を低料金で利用できるインキュベート施設「ITスクエア」を香川県の補助を受けて運営した。

名 称	貸 室 数	入 居 状 況
ITスクエア	11室	10室

3. 県有施設管理運営事業（県委）

80, 214千円

地域企業の技術の高度化や新分野進出を支援するためのインキュベート工房や電波暗室を設けた県有施設の「香川県新規産業創出支援センター（ネクスト香川）」及び先端技術産業分野の研究開発を産学官で行うための拠点施設「香川県科学技術研究センター（FROM香川）」について、県より指定管理者の指定を受け、平成28年度から5年間、管理運営を行う。

（1）ネクスト香川及びFROM香川入居条件等

区 分	インキュベート工房 (ネクスト香川)	研 究 室 等 (FROM香川)
入 居 者	・創業又は新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者であって、その利用を開始する時点において、次のいずれかに該当する者 ①新たに事業を営もうとする者 ②新たに事業を営んだ日以後5年を経過していない者 ③事業の多角化、事業の転換等により新たな事業の分野へ進出しようとする者 ④産業振興に資するものと知事が認める者	・産学官共同研究を行うグループで、産学官を2以上含み、うち1以上が県内で主たる研究開発を行うもの ・産学官共同研究のうち、基礎研究の成果を実用化に結びつけるための研究開発を行う企業 ・産学官連携推進事業を行う法人
規 模	大型5室 小型6室	メカトロ研究室1室 バイオ研究室1室 一般研究室5室（各室3分割可能） 産学官連携推進室
入居状況	大型2室 小型4室	メカトロ研究室 バイオ研究室 一般研究室15室、10グループ 産学官連携推進室
利用料金	月額2,570円/㎡ (月額1,540円/㎡に減額される場合あり)	・産学官共同研究グループ 無料 ・実用化研究企業 月額2,570円/㎡ (月額1,540円/㎡に減額される場合あり) ・産学官連携推進事業を行う法人 無料

入居期間	3年間（最長5年まで延長が可能） ただし知事が別に定める事業の分野 に属する場合等は、最長12年まで延 長可能。 （特定事業分野：地域資源や伝統技術 を活用した特長のある食品・バイオ関 連分野、健康関連分野、先端技術や基 盤技術を活用したものづくり分野、エ ネルギー・環境関連分野）	3年間（最長5年まで延長が可能）
------	---	------------------

○ネクスト香川インキュベート工房入居状況（11室中6室入居）

部屋番号	入居企業名	事業概要	入居年月日
101	(株)かもめや	無人輸送システム、機器の研究開発	平成29年 7月1日
202	(株)未来機械	窓清掃ロボット及びメカトロニクス製品の研 究開発、製造・販売	平成20年 10月1日
203	齊藤 眞理	低糖質お好み焼き粉の開発	平成29年 6月1日
204	(株)総合開発	土壌・水質浄化技術の研究開発	平成29年 7月1日
301	自然免疫制御技 術研究組合	動物実験による健康食品産業の支援	平成29年 2月1日
304	メロディ・インタ ーナショナル(株)	K-MIXと連携する胎児心拍計、遠隔医療 システム、健康生活アプリの開発	平成27年 9月1日

○FROM香川研究室等入居状況（18室中18室入居）

研究室名	研究グループ名 (研究代表/使用責任者)	研究テーマ	入居研究機関	入居年月日
メカトロ 研究室	マイクロ加工研究 グループ (香川大学 高尾英邦/ 寺尾京平)	異分野融合型 産業にむけた マイクロ・ナノ デバイスの研 究	香川大学創造工学部、 医学部、農学部 京都大学 静岡大学 岡山県立大学 香川高等専門学校 徳島大学 大阪府立大学 アオイ電子(株) (株)レクザム 四国総合研究所 ユニチャーム(株) プロテノバ(株) (有)ファイトロニクス 高松帝酸(株) 産業技術総合研究所	平成30年 10月1日

バイオ研究室	アルツハイマー病予防 LPS 開発グループ (自然免疫制御技術研究組合 杉源一郎/ 稲川裕之)	アルツハイマー病等の予防・治療に向けた LPS 創薬の基盤構築と高 LPS 農産物栽培技術の開発	自然免疫制御技術研究組合、香川大学農学部、長野県立大学、九州大学大学院、北海道科学大学、鹿児島大学(特活)環瀬戸内自然免疫ネットワーク 自然免疫応用技研(株) 東洋ライス(株) 小豆島食材開発会議	平成30年 8月1日
一般研究室(1a)	酵素反応阻害剤研究グループ (香川大学 中北慎一/ 木下崇司)	糖鎖加工酵素の反応阻害剤の研究開発	香川大学総合生命科学研究センター 九州大学 徳島大学 (株)伏見製薬所	平成30年 9月1日
一般研究室(1b)				
一般研究室(1c)	IoT 機器開発共同研究グループ(株)未来機械 三宅徹/浦治男)	非接触三次元測定センサを核とした生産設備の IoT 化システム等の研究開発	香川大学創造工学部 (株)未来機械	平成27年 7月1日
一般研究室(2a)	和食のおいしさの科学共同研究グループ (一社)美味しさの科学研究所 山野善正/山下哲男)	和食のおいしさの科学的探究と実際への応用	(一社)おいしさの科学研究所 香川大学農学部、創造工学部 (株)かめびし (有)もり家 やまくに (株)有馬	平成26年 4月1日
一般研究室(2b)				
一般研究室(2c)	かがわ地域医療情報ネットワーク構築研究会 (香川大学 原量宏/ 同上)	香川県産業成長戦略「K-MIX 関連産業育成プロジェクト」における K-MIX ブランドを確立するためのシステム開発研究	香川大学瀬戸内圏研究センター、医学部 徳島文理大学香川薬学部 NPO 法人 e-HCIK (株)STNet ネットワークシステムズ(株) (株)四国中検 富士通(株)四国支社 日本メディカル(株) (株)ミトラ フィンガルリンク(株)	平成26年 9月1日
一般研究室(3a)	複合糖質研究開発グループ (香川大学 中北慎一/ (株)伏見製薬所 木下崇司)	複合糖質の研究開発	香川大学総合生命科学研究センター (株)伏見製薬所	平成30年 3月1日
一般研究室(3b)				
一般研究室(3c)				

一 般 研究室 (4 a)	先進シミュレータ共同 研究グループ (三咲デザイン合同会社 田島淳／香川大学創造 工学部鈴木桂輔)	教育・研究用途 の先進シミュ レータの研究 開発	三咲デザイン合同会 社 香川大学創造工学部	平成30年 4月1日
一 般 研究室 (4 b)	自律移動ロボット共 同研究グループ (株)未来機械 三宅徹/ 同上)	自律移動ロボ ットの研究開 発	香川大学創造工学部 (株)未来機械	平成26年 4月1日
一 般 研究室 (4 c)				
一 般 研究室 (5 a)	海洋細菌多糖と植物 乳酸菌の機能開発共 同研究グループ (香川大学 岡崎勝一 郎／(株)ハマダフー ドシステム 蓮井昌彦)	海洋細菌多糖 と植物乳酸菌 の機能開発	香川大学農学部 (株)ハマダフー ドシステム (株)ピカソ美化学研究 所 富士産業(株)	平成28年 4月1日
一 般 研究室 (5 b)	腸内フローラ研究グ ループ (オーブ(株) 鈴木啓 太／香川大学 桑原 知巳)	腸内細菌叢の 網羅的解析及 び生体影響及 びアスリートの腸内細菌叢 の特徴と機能 の解明に關す る研究	香川大学医学部 オーブ(株)	平成29年 4月1日
一 般 研究室 (5 c)	バキュロ発現系生産 限界技術共同研究グ ループ (株)バキュロテクノ ロジーズ馬嶋景/同左)	バキュロウィ ルス発現系の 生産限界技術 開発	(株)バキュロテクノ ロジーズ 山 口 大 学 農 学 部 (有)生産資源研究所 日本大学医学部	平成28年 4月1日

(2) FROM香川共同機器室及びバイオ関連共同実験室

① 利用状況

- ・共同機器室： 5件
- ・バイオ関連共同実験室： 8件

② 機器利用講習会の開催

- ・開催回数：3回
- ・参加人数：延24名

月 日	機器名	参加 人数
11月27日	フーリエ変換赤外分光光度計	10
12月 4日	分光光度計	6
12月11日	走査型プローブ顕微鏡	8
	合 計	24

(3) ネクスト香川EMC総合試験施設管理運営

EMC総合試験施設使用状況 稼働率 97.0%

区 分	利用企業数	利用時間（実日数）	
		大型電波暗室	小型電波暗室
県内企業	9社	178時間（28日）	807時間（117日）
県外企業	26社	1,241時間（167日）	614時間（80日）
合 計	35社	1,419時間（195日）	1,421時間（197日）

(4) かがわEMC技術研究会事業

区 分	内 容 等
EMC研究会	○開催日時 平成30年6月5日 13時～17時 ○会 場 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室 ○テーマ等 ・総会 ・磁流とスロットアンテナ 岡山大学名誉教授 古賀隆治 氏（かがわEMC技術研究会会長） ・金属を含む導電材を用いる電磁シールドの考え方 兵庫県立大学名誉教授 畠山 賢一 氏 ○参加者数（会員他） 64名
EMC講演会	○開催日時 平成30年11月9日 13時30分～17時 ○会 場 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室 ○テーマ ・電気用品安全法と最近の動向 テュフラインランドジャパン(株) 製造部電気製品課 竹矢泳利 氏 ・コモンモードの発生原理 岡山大学名誉教授 古賀隆治 氏（かがわEMC技術研究会会長） ・EMC部品応用原理及び選択 Würth Electronic Tianjin Co.LTD(ウルトエレクトロニクス天津) Field Application Engineer Edward Li 氏 ○参加者数 54名

V 新かがわ中小企業応援基金等を活用した新産業の創出、地域産業の革新等のための支援事業

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

154,114千円

(独)中小企業基盤整備機構、香川県、金融機関及び当財団が資金を拠出した総額118.5億円の「新かがわ中小企業応援ファンド」などを活用して、中小企業者等に助成を行うことなどにより、先端技術産業や地場産業の新たな取り組みなどを支援した。

1. 助成事業の状況

(1) 平成30年度助成事業の募集期間

平成29年12月7日～平成30年1月31日

(2) 事業件数

新規採択 【77件、85,023千円】

区 分	30年度新規	
	申請件数	採択件数
①新分野等チャレンジ支援事業	22	14
②競争力強化研究開発支援事業	23	10
③地場産業・地域資源活用支援事業	14	6
④県外見本市出展支援事業	50	29 (うち廃止1件)
⑤海外見本市出展支援事業	20	10
⑥ものづくり産業生産性向上・スキルアップ 助成事業	5	5
⑦創業ベンチャー支援事業 (かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ枠 1件含む)	6	3
合計	140	77

(3) 助成事業の詳細

① 新分野等チャレンジ支援事業

県内中小企業者が取り組む新分野進出のための商品・技術開発や、市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証実験などに対して支援を行った。

新規採択 【14件、助成額5,778千円】

テーマ	事業者
オリーブ酵母を使った香川県特産清酒の開発	香川県酒造組合
小規模ビール醸造所向けの瓶ビール充填及び王冠打栓装置の開発	(同)五名醸造
新レシピの黒ごまペーストを用いたライフスタイル提案型ギフトセットの製作	千金丹ケアーズ(株)
オリーブ果汁の再利用	(同)ナカタ
ユニバーサルデザインの視点からの人に優しい介護記録システムの開発と機能検証	日本メディカル(株)
讃岐もち麦ダイシモチ 茹で麦加工品	(株)まんでがん
業務用しゃもじ（仮称：極みしゃもじプロフェッショナル）開発	くりや(株)
「段付き緩み止め締結ナット」の開発	サンコー(株)
大型ベルトコンベアのローラ内蔵軸受状態監視用センサーの開発	(株)三和テスコ
シジミエキス(ペプチド)の商品化	島乃香(株)
高機能性無機系凝集剤を活用した石材加工用濁水処理システムの開発	(株)総合開発
銀加工により消臭機能を付与した綿製品の開発	大同染工(株)
日本初モジュール組立型BMX・スケートボードパーク開発事業	(株)都村製作所
機能性スイーツの開発	(株)ルーヴ

② 競争力強化研究開発支援事業

独創的な研究開発や、特許権等を活用した付加価値の高い新製品・新技術の開発等に対して支援を行った。

新規採択 【10件、助成額43,512千円】

テーマ	事業者
自動はかり検定化に伴う分銅検査の効率化促進	鎌長製衡(株)
コンクリート表面改質粘着シートの開発	(株)菊井商会
「小ロット」「多品種」の商品に対応した軟包装パッケージの技術開発・商品開発	(株)北四国グラビア印刷
フッ素ガス粉体処理装置開発及びフッ素ガス処理粉体用途開拓、市場提案	高松帝酸(株)
HS-PET の付加価値アップ、評価方法と生産性の確立を目的とする研究開発	日生化学 (株)
ボルトジョイント型パラミックス工法（仮設栈橋工法）の開発	日本ジュウケンセツ(株)
中規模蓄電池システムと小型風力発電機との組み合わせによるトータルシステムの効率を最大化できる接続方法等の実証実験	バリオスター(株)
貼箱製造における高付加価値自動機械システムの開発	(株)FUJIDAN
機能性単糖の大量生産システムの開発と機能性および安全性の評価	(株)伏見製薬所
おいしさと機能性に優れた小麦胚芽粉体の開発及び生産技術の確立	吉原食糧 (株)

③ 地場産業・地域資源活用支援事業

地場産品または県が指定した地域資源を活用した新製品の開発や販路開拓等に対して支援を行った。

新規採択 【6件、助成額7,511千円】

テーマ	事業者
和紙繊維 100%デニム素材製品の開発によるブランドの確立	(株)オギタヘムト
刺繍加工技術の高度化と販路開拓事業	(株)オーキッド
ひまわり油製造過程で副生する圧搾滓を、機能性素材として利用したまんのう町特産物の試作開発	(有)西内花月堂
石材加工技術革新による庵治石の高付加価値化と新展開事業	(株)二宮石材
オリーブ豚の冷凍食品惣菜の開発・消費拡大を図るための販路開拓	丸剛産業(株)
ゴルフ手袋の製造技術を応用したグラウンドゴルフ専用の新しい手袋の開発と販売	(株)レガン

④ 国内販路開拓支援事業（県外見本市出展支援事業）

県内中小企業者等に対して、国内で開催される見本市への出展の支援を行った。

新規採択 【29件（うち廃止1件）、助成額7,692千円】

テーマ	事業者
第86回東京国際ナショナル・ギフト・ショー秋 2018	エールック(株)
	(株)ムロト
2018 NEW 環境展	(株)エコマスター
PLUG IN [廃止]	カワニシカバン product
第1回関西ホテル・レストラン・カフェ産業展	(同)さぬき農園ぐらし
第29回設計・製造ソリューション展	(株)ジョーソンドキュメンツ
ファッションワールド東京 2018 秋	生新(株)
東京国際消防防災展 2018	(株)ダイコープロダクト
地域食品ブランドフェア 2018	(株)まんでがん

フードストアソリューションズフェア 2018	(株)八栗
第9回国際ファッション雑貨 EXPO 夏	ヨークス(株)
第87回東京国際ギフト・ショー春 2019 LIFE×DESIGN	アーバン工芸(株)
沖縄大交易会 2018	石丸製麺(株)
	鎌田商事(株)
	(株)久保田麺業
第75回全国老人福祉施設大会 介護機器展	(株)ウェストフードプランニング
第25回建築・建材展 2019	(株)川上板金工業所
テーブルウェア・フェスティバル 2019	(株)川口屋漆器店
第5回国際ドローン展	(株)空撮技研
国際画像機器展 2018	(株)シーマイクロ
健康博覧会 2019 地域創生支援エリア	(有)生化学研究所
新機能性材料展 2019	高松帝酸(株)
第13回地方銀行フードセレクション 2018	宝食品(株)
回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会 in 舞浜・千葉	徳武産業(株)
FOODEX JAPAN 2019	中野産業(株)
第23回機械要素技術展	(株)長峰製作所
SECURITY SHOW 2019	パル技研(株)
Japan Home & Building Show 2018(第40回ジャパンホームショー)	(株)マルトク
第45回日本産婦人科医会学術集会	メロディ・インターナショナル(株)

⑤ 海外販路開拓支援事業（海外見本市出展支援事業）

県内中小企業者等に対して、海外で開催される見本市への出展の支援を行った。

新規採択 【10件、助成額8,772千円】

テーマ	事業者
FHA（4月 シンガポール）	(株)アライオリーブ
中国廈門国際佛事用品（春季）展示会（5月 中国・廈門市）	(株)岩佐佛喜堂
JAPAN EXTION（6～11月 UAE・ドバイ）	(株)一ノ蔵
ジャパンエキスポ（7月 フランス・パリ）	cocokara japan
Beauty Professional Philippines（10月 フィリピン・マニラ）	アサクラインターナショナル(有)
Taipei Cycle（10月 台湾・台北市）	(有)アイヴエモーション
第1回中国国際輸入博覧会（11月 中国・上海市）	鎌田商事(株)
PITTI IMAGINE UOMO（1月 イタリア・フィレンツェ）	(株)クロダ
MAN（1月 フランス・パリ）	(有)川北縫製
IF デザインアワード（1月 ドイツ・ミュンヘン）	(株)広立

⑥ ものづくり産業生産性向上・スキルアップ支援事業

中小企業者等が製造現場におけるコスト削減等を目的に行う、専門コンサルタントを活用した製造現場の改善事業や、企業が実施する人材育成研修事業に対して支援を行った。

新規採択 【5件、助成額9,252千円】

テーマ	事業者
金属屋根工事業における5S改善と作業標準化による一貫体制システムの構築	(株)川上板金工業所
生産管理システム導入による生産性向上	(株)フクシン
将来の競争に打ち勝つ「人財」づくり	(株)FUJIDAN
ISO22000の仕組みづくりを利用して生産向上を図る	(株)ホーコク製粉
円滑な事業継承及び技術継承と継続的な改善活動ができる自立型組織をつくる	マルワ製袋(株)

⑦ 創業ベンチャー支援事業

【創業ベンチャー】

新規創業者や創業間もない企業が行う、新規性、独創性のある事業等に対して支援を行った。

新規採択 【2件、助成額2,209千円】

テーマ	事業者
ドローン（無人機）開発による、新規事業の創出	(株)佐竹技研
新しい旅の形を四国で提供 キャンピングレンタカーとキャラバンハウス	馬場 達也

【かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ2017最優秀賞認定事業】

創造的な技術や商品、サービスなどを自ら新規に開発し、新たな顧客や付加価値を創造しようとする、独創的なビジネスプランを支援するために実施する「かがわビジネスモデル・チャレンジコンペ」最優秀賞受賞者の事業に対して支援を行った。

新規採択 【1件、助成額297千円】

テーマ	事業者
Manageering School AI時代に生きるスキルを子供達に教える マネジメント×エンジニアリング教室	(株)フレップテック

2. 産業支援機関事業（財団直営事業を含む。）の状況

① 高度産業人材育成事業

分野	実施講座数	受講者数（延べ）
IT技術研修	10	180名
次世代ものづくり技術研修	4	52名

② 地域企業国内販路開拓支援事業

事業名	実績	件数等
緊急的受注開拓促進事業	東京、大阪に発注開拓コーディネーターを配置し、首都圏、関西圏の発注企業訪問による発注開拓を行い、発注案件や情報収集の発掘を行った。 ・企業訪問件数 延べ181件 ・あっせん件数 26件 ・ビジネス情報交換会 1回（平成31年3月22日）	181件
かがわものづくり新技術展示商談会開催事業	県内の企業や研究機関等が有する優れたものづくり技術・製品等をPRするため、県外大手メーカーに対して一堂に展示し、商談会を通じて本県企業の新規取引先の開拓と受注機会の拡大を図った。 【(株)小松製作所提案商談会】 日 時：平成30年6月12日 10時～15時 場 所：(株)小松製作所 大阪工場 生産技術開発センタ1F （大阪府枚方市上野3-1-1） 参加者数：県内企業17社・1機関 来場者数：107名 商談件数：284件 【(株)日立製作所展示商談会】	2回

	日 時：平成31年1月18日 10時～17時 場 所：上野イーストタワー2階 UE ホール (東京都台東区東上野2-16-1) 参加者数：県内企業23社・1機関 来場者数：344名 商談件数：384件	
食品商談会開催事業	【食品商談会】 大都市圏等県外の食品関連バイヤー、及び県内の食品関連バイヤーを招聘し、県内食品事業者との商談会を開催。 ・日 時 平成30年9月12日 ・場 所 JR ホテルクレメント高松 ・招聘バイヤー 63社【百貨店、総合スーパー他】 ・参加企業 90社 ・商談件数 713件、商談成約見込226件 - 商談継続 415件	1回
食品見本市出展事業	【スーパーマーケット・トレードショー】 香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー2019」において、香川県ブース(24小間)を出展。 ・日 時 平成31年2月13日～15日 ・場 所 幕張メッセ全館 ・参加企業 44社 ・商談件数4,907件、成約見込金額97,765千円	1回

③ 地域企業海外販路開拓支援事業

事業名	内 容	件 数 等
国際取引支援アドバイザー設置	国際取引支援アドバイザーを設置し、相談会の開催等により、県内企業の国際取引相談に対応するとともに、課題・ニーズの把握を行った。	国際取引支援アドバイザー2名設置 個別相談 66件（メール相談4件含）
「かがわ海外ビジネス支援総合サイト」の運営	財団HP内に開設している海外ビジネス専用サイトを活用し、各支援機関の海外ビジネス支援に関する情報を一元化して発信することにより、県内企業の海外展開の支援を行った。	主な内容 新着情報、財団事業、香川県上海ビジネス展開支援事業、海外ビジネス情報、中国NAVI 他
海外ビジネス支援セミナーの開催	県内中小企業のさらなる海外展開を支援するため、四国経済産業局との共催により、ASEAN（ベトナム）への進出をテーマにしたセミナーを開催した。	○四国地域海外展開応援フォーラム in 香川 ASEAN（ベトナム）への進出 ～事例から学ぶ海外展開のポイント～ 開催日 平成30年12月3日 開催場所 高松サンポート合同庁舎 北館低層棟2階（アイホール） 講師 国際取引支援アドバイザー 座間 安紀夫 氏 参加人数 県内企業経営者等50名

④ 新規発掘・事業化コーディネート事業

専任コーディネーター等を配置し、積極的な中小企業回りを通じて、新たなシーズの発掘や事業化の支援、事業終了後のフォローアップ、成果検証等を行った。

⑤ 新商品発表会

かがわ中小企業応援ファンド事業及びかがわ農商工連携ファンド事業の事業成果を広く公開するため、新商品発表会を開催し、助成事業者による研究成果や事業展開などの発表に加え、成果品の展示等を行った。

VI かがわ農商工連携基金を活用した農商工連携推進のための事業

1. かがわ農商工連携ファンド事業

44,381千円

(独) 中小企業基盤整備機構、県及び金融機関等が資金を拠出した総額28億円の「かがわ農商工連携基金」を活用して、農林漁業者と中小企業者が連携して取り組む新商品や新サービスの開発、販路開拓などを支援した。

(1) 農商工連携事業（助成金事業）

① 新規採択 【18件（うち廃止1件）、助成額1,293千円】

○新商品等開発支援事業

テーマ	連携体
オリーブ車海老を活用した豆菓子などの商品開発と販路開拓	(有) 筒井製菓 仁尾産商(株)
焼きたてのおいしさが再現できる新しいアルミ蒸着包装の焼き芋商品開発、および販路開拓	(株) ニッショール さんわ農夢(株)
高糖度トマト「あまト」を使用した和菓子等の商品開発と販路開拓〔廃止〕	(有) 菓匠芝山 (有) ケア・ステーション
高松市西部地域産の規格外果実を使用したゼリー等の商品開発と販路拡大	(株) スミダ・リ・オリジン 高松市西部地域果樹部会
有機栽培ベルガモットオレンジの冷凍果皮を使ったこだわりジェラートの周年生産と販路開拓	(有) オッティモ 末澤農園
高松盆栽普及のためのコンテンツ商品開発と販路開拓	(株) 妙興 国分寺グリーンクラブ
香川県産オリーブオイルを使用したフェイスマスク化粧品の開発と販路開拓	大成薬品工業(株) 三豊オリーブ(株)
ヒトエグサ陸上養殖システムの確立と養殖ヒトエグサの商品開発・販路開拓	宝食品(株) 内海漁業協同組合
飯南の桃を利用したスイーツやドレッシング等加工品の開発と販路開拓	(株) かわよし 飯南地区桃生産販売部会
高齢者にやさしい農産物や惣菜等加工品の流通・販売方法の実証	かなたまキッチン こんちゃん農園
三豊産野菜を活用した“野菜塩（仮称）”の商品開発・販路開拓	cafe de flots まつむら農園
アスパラガス収穫作業用座椅子台車の製造と販路開拓	(有) グッドワーク 香川県農業協同組合

アスパラガスの未利用資源を有効活用したペーストとその加工品開発・販路開拓	ガイナファーム(株) 眞鍋牧場
オリーブ牛の低需要部位を活用した缶詰製品の新商品開発と販路開拓	讃岐罐詰(株) 香川県農業協同組合
香川の伝統野菜等の継承と販路拡大	高松青果(株) F-farm
ハチミツを主とした調味料の開発と販路開拓	(株)高橋商店 (株)ミネック

○販売力強化・ブランド化支援事業

テーマ	連携体
「NUDE GRANOLA フルーツ」と「NUDE GRANOLA オリジナル」の売上強化と販路開拓	(株)高畑精麦 梶原 大介
「さぬきキウイっこ」を使用したスイーツのPR及び販売力の強化	(株)スミダ・リ・オリジン (株)キウイベリージャパン

② 継続 【17件、助成額28,710千円】

○新商品等開発支援事業

テーマ	連携体
讃岐三白「綿」の復活、ファクトリーブランドとの連携による高級商品開発と販路開拓	(有)川北縫製 宮崎恭憲
小豆島特産物を使った「小豆島のぎょうざ」、「ぎょうざ手作りセット」の商品開発と販路開拓	(株)せとうちのずかん 鈴木農園
古代米を活用した新たな手延べ麺の開発と販路開拓	(株)井筒屋 農事組合法人福栄中央
綾川町山田産「オオセト米」の栽培復活とその地元米を使用した日本酒の開発と販路開拓	綾菊酒造(株) (有)グリーンフィールド
多度津町産オリーブを原料にした「オリーブ佃煮」「オリーブ新漬(種抜き)」等の商品開発と販路開拓	多度津さくら工房 (株)蒼のダイヤ 農事組合法人たどつオリーブ生産組合
香川県産蜂蜜を用いた新感覚和菓子の商品開発と販路開拓	(有)宝月堂 田淵養蜂場
ネギの特長を生かした餃子(冷凍)の商品開発と販路開拓	(有)だいや食品 (株)Sun so
伊吹島産カタクチイワシを使った冷凍「釜揚げいりこ」の商品開発と販路開拓	(株)キョーワ 伊吹漁業協同組合
生花加工技術を利用した家具等の商品開発と販路開拓	(有)藤田木工所 (有)River Field Flowers
香川県産きくらげ(さぬきくらげ®)の栽培技術の取得並びに同きくらげを利用した新商品開発と販路開拓	宝食品(株) 高橋石油(株)
「オリーブのフレーバーマリネ」の新商品開発と販路開拓	(株)高橋商店 (株)高尾農園
香川県産原材料による七味スパイス、ベーグル等の開発と販路開拓	合同会社ROMANTIC FLIGHT (有)石川ファーム
野菜の粉末ともち玄米粉で作る麺と米糠ふりかけの商品開発・販路開拓	(株)デュエット ミカタ
烏骨鶏の卵を使用した高付加価値スイーツの開発と販路開拓	(株)エフディアイ (有)松本ファーム

パセリ規格外品を使用したペースト商品の開発	(株)味道源 松井農園
坂出の「柿の葉」を活用した健康指向のサブレ・ケーキ等の 新商品開発・販路開拓事業	(有)西内花月堂 (有)生化学研究所

○販売力強化・ブランド化支援事業

テーマ	連携体
小豆島産長命草を使用した商品の PR 及び販路開拓	(株)島醸 小豆島長命草の会

(2) 農商工連携支援事業

農商工連携を支援するために財団が実施する事業

新商品発表会、求評モニター会の開催、首都圏での試験販売、見本市出展支援、農商工連携コーディネーターによる連携体に対する事業計画のブラッシュアップや商品化に向けたフォローアップを実施した。

○フードストアソリューションズフェア 2018

(一財)かがわ県産品振興機構大阪事業部と共同で香川県ブース(8小間)を出展。

- ・日 時 平成30年9月20日～21日
- ・場 所 インテックス大阪6号館A
- ・参加企業 18社(うち財団4社)

○FOODEX JAPAN 2019

香川県と共同で香川県ブース(13小間)を出展。

- ・日 時 平成31年3月5日～8日
- ・場 所 幕張メッセ全館
- ・参加企業 21社(うち財団8社)

収益事業

1. 産業会館事務室提供事業

2,462千円

産業会館5階に所有するスペースを、公益社団法人香川県シルバー人材センター連合会、一般財団法人消防試験研究センター香川県支部及び香川県中小企業団体中央会に対し、賃貸した。

その他の事業(相互扶助等事業)

1. 異業種交流事業

2,889千円

(1) かがわ産業振興クラブ運営事業

講演会や企業見学会を開催するとともに、機関誌、メルマガ等により産業情報の提供を行った。

事業内容	開催日	参加者数
講演会	平成30年 7月31日	150名
県外企業等見学会	平成30年11月 7日	45名
知事との意見交換会	平成30年11月29日	49名

(2) 異業種交流等への支援

各種団体の事務局として当該団体の活動を支援した。

団 体 名	団 体 概 要	活 動 内 容
香川マルチメディア ビジネスフォーラム (会員数 33)	I Tを活用した経営の向上や新たなビジネスの創出を図るとともに、会員企業の交流を促進し、本県産業の振興に寄与することを目的として設立された団体	○講演会 ○見学会 ○総会、交流会 等
香川県デザイン協会 (会員数 89)	県内におけるデザイン振興の中核として、優れたデザインが生み出される環境づくりや、産業界等との連携による産業及び地域文化の発展を図るため、県内デザイナー等により設立された団体	○デザイン展覧会 ○講演会 ○視察研修 ○総会、交流会 ○会報発行 等
さぬきプラザ 21 (会員数 24)	技術・市場関連の問題等に関する意見・情報の交換により、会員企業の技術及び経営力の向上を図るため、県内企業で構成された異業種交流の団体	○講演会 ○見学会 ○総会、交流会 ○会員間の情報交換 等
かがわプラザ 2004 (会員数 35)		
J S 研究会 (会員数 36)	県内中小企業の自立化推進や人材育成・経営基盤の強化等を研究するため、県内のものづくり系企業で組織された団体	○講演会 ○見学会 ○人材育成研修 ○総会、交流会 等
香川インテリジェントパーク交流推進協議会 (会員数 41)	香川インテリジェントパーク(K I P)に立地する企業や団体等の理解、交流及び情報交換を推進し、相互の技術、経営及び学術、文化の向上を図るために設立された団体	○総会 ○香川インテリジェントパークの環境整備(一斉清掃) ○献血 等

2. 香川県発明協会事務運営事業

1, 041千円

一般社団法人香川県発明協会の事務運営業務を受託した。

法人会計

1. 一般管理運営事業

83, 478千円

財団運営の全般的管理を行うとともに、理事会及び評議員会の開催、基金等運用収入の確保等により財団事業の円滑実施に努めた。

[評議員会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第28回評議員会	平成30年 4月13日	持ち回り	1「評議員の選任について」
第29回評議員会	平成30年 4月27日	持ち回り	1「評議員の選任について」
第30回評議員会	平成30年 6月14日	リーガホテル ゼスト高松	1「評議員の選任について」
第31回評議員会	平成31年 2月 1日	持ち回り	1「評議員の選任について」
第32回評議員会	平成31年 2月 1日	持ち回り	1「評議員会会長の選任について」

[理事会の開催状況]

回次	開催年月日	開催場所等	主要議題
第100回 理事会	平成30年 5月30日	香川産業頭 脳化センタ ービル1階 第1会議室	1 「平成29年度事業報告及び収支決算について」 2 「平成29年度資金運用実績について」 3 「平成30年度収支補正予算について」 4 「評議員会の招集について」
第101回 理事会	平成31年 3月11日	香川産業頭 脳化センタ ービル1階 第1会議室	1 「平成30年度収支補正予算について」 2 「平成31年度資金運用計画について」 3 「平成31年度事業計画及び収支予算について」 4 「就業規程の一部改正について」 5 「常勤理事の報酬について」

(参 考)

1. 香川らしい国際協力プロジェクト「ラオスうちわ産業振興支援プログラム（フェーズ2）」の実施

ラオス人民民主共和国ビエンチャン県バンビエン郡等の周辺地域農民のうちわ生産技術の習得と生計向上を図るため、香川県が独立行政法人国際協力機構（JICA）における、「JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）」の提案団体となり、FUNFAN実行委員会（当財団を含む）がその実施団体となって事業を実施した。

（1）事業主体：FUNFAN実行委員会

香川県、香川県うちわ協同組合連合会、香川県デザイン協会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会（香川地区）、丸亀市、公益財団法人かがわ産業支援財団

（2）事業期間：平成28年2月～平成31年1月

（3）相手国協力対象機関：農林省森林局農林研修センター

（4）事業内容：平成30年4月、8月、10月、平成31年1月にうちわ職人及びデザイナー等の専門家を現地へ派遣した。ラオス国内のイベントでの販売実習や美術学校でのワークショップを開催、ラオス国内の販路拡大に向けた支援を進めるとともに、ラオスうちわマイスターとして、技術認定証、バッジを交付した。

5月には、ラオス研修員7名を受け入れ、26日、27日東京渋谷で開催された「ラオスフェスティバル2018」においてラオスうちわのPRブースを設け、日本外務省、JICA、ラオス政府、ラオス進出企業などの他、一般来場者へPRするとともに、ラオスうちわの制作実演販売を実施した。

また、事業終了に伴い、クローズド・ミーティングを平成31年1月4日にビエンチャンの農業林業省林業局会議室にて行った。